

(款) 20衛生費 (項) 10清掃費 (目) 10じん芥処理費

◎減量化・資源化の経費

分別収集運営事業

資源循環課

【総合計画上の位置づけ】

都市環境を保全・創造するまち

生活環境:環境にやさしい省資源・循環型社会を実現しているまち

【事業の目的】

対象 市民等

意図 廃棄物を適正に処理し、循環型社会の形成を目指すため。

効果 ごみの発生抑制及び減量化・資源化が図られることにより、循環型社会が形成される。

【事業の内容】

(1) 収集処理事業

- ・収集処理業務として、資源物やごみを品目別に分別収集し資源化を図った。
- ・クリーンステーションのごみ散乱やカラス被害を防止するため、ごみ散乱防止ネットを貸し出した。
- ・不燃ごみ・植木剪定材の収集運搬業務を一部民間委託した。

(2) 分別収集施設・設備運営事業

- ・燃えないごみ、危険・有害ごみの資源化を行う施設・設備を管理を行った。

【中事業に含まれる実施計画事業】

紙類等の資源化(3-3-2-①)

ペットボトル・容器包装プラスチックの資源化(3-3-2-②)

粗大ごみ等の処理手数料の適正化(3-3-3-⑥)

【事業費】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
656,771	618,741	603,769		14,972
主な支出内訳				
・収集処理事業				
ごみ散乱防止ネット消耗品費				779
粗大ごみ等収集用シール作成印刷製本費				2,116
ペットボトル中間処理業務委託料				25,876
容器包装プラスチック中間処理業務委託料				96,018
容器包装プラスチック収集運搬業務委託料				73,080
紙類等資源物処理業務委託料				176,638
容器包装処理業務委託料				7,505
廃蛍光管資源化処理業務委託料				2,678
不燃ごみ資源化処理業務委託料				75,164
木製家具等資源化処理業務委託料				6,772
ミックスペーパー資源化処理業務委託料				0
資源物(カン・ビン)収集及びコンテナ配布業務委託料				124,185
廃乾電池資源化処理業務委託料				3,788
鉄屑類等資源化処理業務委託料				3,506
市民向け分け方・出し方パンフレット作成委託				146
粗大ごみ等収集用シール販売委託料				1,080
フロンガス破壊処理委託料				88
クリーンステーション看板作成委託料				174
不燃ごみ・植木剪定材一部収集運搬業務委託料				2,663

・分別収集施設・設備運営事業

不燃ごみ等搬出用トラックスケール定期検査手数料

284

不燃ごみ等搬出用トラックスケール賃借料

1,022

鹿嶋市環境保全協力金

207

ごみの搬入量

(単位:t)

区分 年度	家庭系ごみ				事業系ごみ				合計
	燃やすごみ	燃えないごみ等	粗大・臨時ごみ	計	直営収集ごみ	許可業者収集ごみ	持込ごみ	計	
20	24,955	1,436	2,305	28,696	115	12,832	796	13,743	42,439
19	25,329	1,613	2,739	29,681	115	13,325	976	14,416	44,097
18	25,927	1,683	2,718	30,328	107	13,058	882	14,047	44,375

資源物の搬入量

(単位:t)

区分 年度	飲食用 カン・ビン	ミックスペーパー ・紙パック	容器包装 プラスチック	ペットボトル	植木剪定 材	新聞・雑誌・段ボール・布類	計
20	2,153	2,851	2,210	500	11,018	9,357	28,089
19	2,203	2,859	2,271	512	11,200	10,289	29,334
18	2,223	2,800	2,211	499	11,120	10,573	29,426

ごみの焼却量

(単位:t)

年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度
焼却量	41,428	41,533	39,007

家庭ごみ(粗大ごみ等を除く)及び資源物の搬入量

(単位:kg)

区分 年度	18年度		19年度		20年度	
	ごみ	資源物	ごみ	資源物	ごみ	資源物
1世帯当たり	391	417	378	411	366	390
1人当たり	160	170	155	170	152	162

平成21年度事務事業評価シート

事務事業 No./名称	■サービス部門 環境-04 分別収集運営事業 □支援部門								
事務事業 単 位	ザイムス コード及び 個別事業 名	1101 分別収集事業							
		1211 分別収集事業							
		1213 分別収集施設・設備運営事業							
主管課	資源循環課	関連課	名越・今泉クリーンセンター、笛田リサイクルセンター						
分野名	生活環境								
目標 (目標値)	効率的な収集・処理体制の確保と廃棄物の適正処理。 平成22年度ごみ焼却量を平成15年度の10%減とする。								
人口等の データ	データ区分	20年度	19年度	18年度	備 考				
	人 口	176,484人	175,902人	175,051人	・各年4月1日				
	世 帯 数	77,430世帯	76,536世帯	75,611世帯					
運営資源 状 況	決算値	603,769千円	637,106千円	630,034千円					
	(国・県)								
	(負担金等)	258,728千円	172,709千円	59,535千円					
	(一般財源)	345,041千円	464,397千円	570,499千円					
	人員配置数	4.7人	5.7人	5.2人					
	人件費	44,120千円	55,004千円	50,043千円					
協働の パートナー	なし	なし	なし						
事務事業 運営経費	総事業費	647,889千円	692,110千円	680,077千円					
	市民1人当 りの経費	3,671円	3,935円	3,885円					
	対象者1人 当りの経費								
20年度事務事業の変更点(新規・廃止・縮小した個別事業)/事業仕分けの視点による妥当性の評価									
個別事業名	変更額(千円)	事業の変更点・変更理由				妥当性※	※妥当性の評価 ① 必要性なし ② 民間 ③ 国・県 ④ 現行どおり(鎌倉市)		
指 標	評 価	年度	19年度	20年度	21年度	22年度	最終年度(27年度)		
ごみ焼却量	◎	目標値	41,590t	40,960t	40,350t	39,700t	30,900t		
		実績値	41,533t	39,007t					
指 標	評 価	年度	19年度	20年度	21年度	22年度	最終年度(年度)		
		目標値							
		実績値							
指 標	評 価	年度	19年度	20年度	21年度	22年度	最終年度(年度)		
		目標値							
		実績値							
指 標	評 価	年度	19年度	20年度	21年度	22年度	最終年度(年度)		
		目標値							
		実績値							
評価 ◎:目標を達成 ○:目標に向かって前進している △:横ばい ×:後退している									
ベンチマーク(県内外自治体や民間団体との比較値)									
団体名	横浜市	川崎市	横須賀市	平塚市	鎌倉市	藤沢市	小田原市	茅ヶ崎市	逗子市
1人当たりごみ排出量 (g/日)	1,002	1,062	1,112	1,045	1,160	958	1,115	966	1,024
資源化率	27.3%	15.5%	35.3%	20.4%	47.6%	31.0%	31.8%	18.5%	25.4%
相模原市	三浦市	秦野市	厚木市	大和市	伊勢原市	海老名市	座間市	南足柄市	綾瀬市
	1,024	1,134	892	1,073	945	1,013	968	830	995
	19.9%	33.7%	22.2%	14.6%	23.9%	15.6%	37.9%	32.1%	25.4%

平成21年度事務事業評価シート

創意・工夫・課題等改善状況	課題・問題点	(20年度事務事業を実施するうえでの課題・問題点は、どのようなことでしたか) ・排出された資源物の中に、異物や禁忌品が混入しているものがあり、一部の資源物の品質に影響が出ていた。 ・ごみと資源物の分別区分については、日常、問い合わせが多くあるので、より分かりやすいパンフレットの作成や啓発活動が必要であった。 ・平成19年度のごみの焼却量が微増したため、発生抑制や資源物の分別の啓発を推進する必要があった。
	創意・工夫・課題等の改善点 20年度の成果	(課題・問題点についてどのような創意工夫、改善をしましたか。また、どのような成果がありましたか) ・ごみと資源物の品目を「あいうえお」順に記載したカラー版の分別区分パンフレットを作成し、全戸配布して分別の啓発を行った。 ・幼児から高齢者まで親しんでいただける3Rマスコットキャラクターを作成し、3Rロゴマークとともに活用して、市民、事業者及び滞在者に3R推進の啓発を行った。 ・経済不況の影響もあるが、ごみ焼却量が減少した。
	未解決の課題・問題点	(20年度事務事業の取組において対応(解決)できなかったものはどのようなことですか) 分別排出された容器包装プラスチックの中に、汚れが付着しているものや禁忌品の混入が多く見られるため、改めて分別排出の啓発を行う必要がある。
	今後の方針(対応・改善)	(上記対応できなかった課題・問題点について今後どのように対応(改善)していきますか) ・自治・町内会の説明会や廃棄物減量化等推進員の会合等で、資源物に混入した汚れた物や異物の状況を写真等で見せながら適正な分別排出を指導していく。 ・3Rマスコットキャラクターを活用し、3Rの意義をキャンペーンや環境教育などを通して啓発していく。

一次評価(課長評価)

今後の方向性	A:充実又は拡大 C:統合又は縮小 E:事業完了 B:現状のまま継続 D:廃止又は休止	B	改善の必要性 有
	ごみの焼却量を減少させていくために、燃やすごみに混入している資源物の分別啓発を更に推進していくとともに、資源物の品質に影響を及ぼす混入物の周知を図っていく。		
担当課長氏名:	資源循環課長 相澤 達彦		

二次評価(部長評価)

今後の方向性	A:充実又は拡大 C:統合又は縮小 E:事業完了 B:現状のまま継続 D:廃止又は休止	B	改善の必要性 有
	3Rマスコットキャラクターを活用し、ごみの発生抑制や再生利用をわかりやすく周知していく業務を推進していくとともに、新たな資源化品目の研究を進めます。		
担当部名	環境部	部長名	勝山 洋